

プレス・リリース

平成25年度企画展

没後10年

# 人間国宝 松井康成展

Living National Treasure. MATSUI Kosei - A Retrospective

平成25年4月20日（土）～6月16日（日）

織りなす模様 色彩シンフォニー (キャッチコピー)



松井康成  
練上玻璃光壺  
(ねりあげはりこうつぼ)  
2001年 34.2 × 36.6cm  
茨城県陶芸美術館蔵

## 茨城県陶芸美術館

IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地(笠間芸術の森公園内)  
TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012  
<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

## 1 展覧会名

没後10年

# 人間国宝 松井康成展

英名：Living National Treasure. MATSUI Kosei - A Retrospective

キャッチコピー：織りなす模様 色彩シンフォニー

## 2 開催趣旨

### A：一言でいうと(42字)

練上手の技法により人間国宝となった松井康成（1927-2003）没後10年の回顧展。

### B：もう少し丁寧にいうと(96字)

色の異なる土を組み合わせて成型し、同時に模様を作り上げる「練上手」の技法により、昭和生まれの陶芸家として初めて重要無形文化財保持者（人間国宝）となった松井康成（1927-2003）の没後10年の回顧展。

### C：詳細にいうと(340字)

昭和2年、長野県に生まれた松井康成は、30歳で茨城県笠間市にある月崇寺（げっそうじ）の住職となり、中国や日本の古陶磁研究ののち、練上の技法に絞って試行錯誤を重ね、独自の表現世界を創造しました。種類の異なる土の組み合わせは、収縮率などの違いから破損しやすいため、基本となる土を同じものとし、そこに少量でも鮮やかに発色する呈色剤を混ぜる「同根異色」の方法により、練上による表現の可能性を格段に上げました。本展は、線文様に代表される初期の練上作品に始まり、ロクロで内側から膨らませ表面に亀裂を誘う「嘯裂（しょうれつ）」から、磁器に近い土の組成と硬質な輝きを特徴とする晩年の「玻璃光（はりこう）」に至るまで、多彩な展開を示した松井康成の壮大な芸術世界を代表作約100点により紹介する展覧会です。

## 3 展示構成

出品総数 103点

第I章 初期作品、練上

第II章 嘯裂、象裂

第III章 堆瓷、クレイ画

第IV章 破調練上、刻彫、風白地、晴白

第V章 萃瓷

第VI章 玻璃光

資料

## 4 主催等

主催  
後援

茨城県陶芸美術館

朝日新聞社水戸総局／茨城新聞社／NHK水戸放送局／笠間市／笠間市教育委員会  
／（社）笠間観光協会

## 5 会期

平成25年4月20日（土）～6月16日（日）51日間

## 6 開館時間

午前9時30分から午後5時まで(入場は午後4時30分まで)

## 7 休館日

月曜日 ただし、4月29日(月)、5月6日(月)は開館。5月7日(火)は休館

## 8 会場

茨城県陶芸美術館 地階企画展示室

## 9 観覧料

一般700(550)円 高大生500(400)円 小中生250(200)円

( )内は20名以上の団体料金。満70歳以上の方、障害者手帳・療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方(ただし1人につき1人まで)は無料。土曜日は高校生以下無料。

## 10 関連行事(予定)

### ○美術講演会

平成25年5月18日(土) 午後1時30分から

当館1階多目的ホール(聴講無料)

講師：松井康陽氏(松井康成長男・陶芸家) 聞き手：金子賢治(茨城県陶芸美術館長)

定員120名(先着順・当日整理券を発行)

### ○ワークショップ 「練上技法に挑戦ー軽量粘土で練上作品をつくってみよう」

平成25年6月1日(土) 午前の部：午前10時～午後12時まで

午後の部：午後1時30分～午後3時30分まで

参加費500円(企画展チケットが必要です)

定員 各回20名 応募締切 5月25日(土)

※ 電話・FAXによる事前申し込みが必要です。

### ○担当学芸員によるギャラリートーク

平成25年5月11日(土)午後1時30分ー

※ 企画展チケットが必要です。

※ 関連催事の詳細につきましては後日、ポスター・チラシ・ホームページ等でご確認ください。

## 11 連絡先

茨城県陶芸美術館

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地(笠間芸術の森公園内)

TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

展覧会担当 学芸課首席学芸主事 柳田高志(やなぎだ・たかし)

E-Mail yanagida.takasi@post.ibk.ed.jp

広報担当 企画管理課副主任学芸主事 田村美穂子(たむら・みほこ)

E-Mail kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

## 12 ホームページ <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

## 13 次回展ご案内

「第22回 日本陶芸展」

(2013/7/13(土)～9/8(日))

※ 出品作品データ



「黄瀬戸壺」(きせとつぼ)  
1960年 30.4×21.0cm



「練上線文深鉢」  
(ねりあげせんもんふかばち)  
1974年 27.5×40.5cm



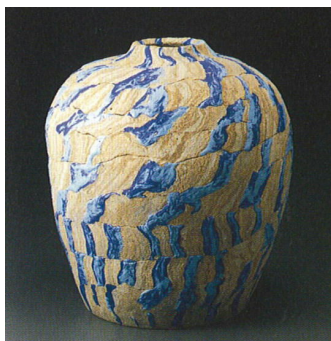
「練上嘯裂文大壺(シルクロード)」  
(ねりあげしょうれつもんおおつぼ(しるくろード))  
1981年 27.5×33.0cm



「練上地象裂文壺(追憶)」  
(ねりあげじしょうれつもんつぼ(ついおく))  
1980年 26.7×34.3cm  
笠間稲荷美術館蔵



「堆瓷文方壺(春の松)」  
(ついじもんほうこ(はるのまつ))  
1983年 42.0×35.0×18.0cm  
東京国立近代美術館蔵



「練上風白地大壺(ロプノール)」  
(ねりあげふうはくじおおつぼ(ろぷのーる))  
1987年 41.6×38.8cm  
茨城県陶芸美術館蔵



「晴白練上壺(潮)」  
(せいはいくねりあげつぼ(うしお))  
1989年 35.9×41.5cm  
東京国立近代美術館蔵



「萃瓷練上大壺(華華)」  
(すいじねりあげおおつぼ(はなはな))  
1983年 34.0×40.0cm